



学校だより 11月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和4年10月29日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

経験を重ねること

校長 寺園 淳

秋の深まりを感じる今日この頃。自然園の田んぼで石川米を育てている5年生が、こうべをたれた稲穂を刈り取っていました。今年はどれくらいのお米が収穫できるか、楽しみです。

その5年生ですが、10月13日、14日の1泊2日で三浦宿泊体験学習に行ってきました。石川小では4年生から宿泊体験学習に取り組んでいますが、昨年はコロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4・5年生は日帰りでの体験学習でした。そのため活動内容も限られたものになっていました。しかし今年は昨年と異なり、その土地だからこそできる活動に取り組むことができました。主な活動は、三浦の畑や海岸をコースに取り入れたウォークラリー、野外調理(カレー)、いかだ体験等です。1日目。ウォークラリーでは、初めての土地を1枚の地図をもとにコースを進んで行きました。ここでは全校遠足の経験が生きているのでしょうか、多くのグループが迷わずにゴールすることができました。野外炊事では、4年生の時の火起こし体験、家庭科の調理実習を役立てようと一人ひとりが自分の役割を果たすように、一生懸命に取り組んでいました。私は火起こし係を支援する担当でしたが、手順を確認するとどのグループも自分たちの力で火を起こすことができました。その間に野菜も切り終わり、カレー作りも順調に仕上がりました。自分たちで調理したカレーの味は格別なものだったと思います。2日目。海の活動として、いかだ乗りに挑戦しました。これは三浦の施設ならではの体験です。施設の方からいかだの乗り方やライフジャケットの着方などの説明を受けました。説明を聞きながら子どもたちがワクワクしていることが伝わってきます。グループごとに一つのいかだに乗るのですが、波に乗り、海に出たとたん、パドルで漕ぐことをやめてしまう子、水面をなでるように漕ぐ子、声をかけリードする子等様々な姿がそこにありました。しかし回数を重ねるごとにいかだは順調に進んでいました。子どもたちは経験を重ね、力を身に付けていきます。私たち教師は子どもの成長のために必要な学びの場は何かということを常に研究していかなければならないと考えます。

体験学習は実行委員を決めて自分たちで活動を進めていきました。そこで体験学習を終えての振り返りを紹介します。

石川小学校は来年度、創立150周年を迎えます。準備を進める中で、記念誌作成等で地域の皆様の思いをお聞かせいただくと幸いです。

石川小学校 Tel 261-0743

私はいかだが一番楽しかったです。班の人と掛け声を合わせて1,2,1,2と息が揃った感じがしたとき、心が一つになった気がしてまさしく5Mもそうだけれど石川魂にもつながったような気がしました。野外炊事でもみんなと協力して、ほかのチームとも助け合えたことがよかったです。一人ひとりが主人公!! に近づけてよかったです。 5年1組 栗田 詩恵奈

66人全員の色が出ていてこの5年生の一大イベントが、一人ひとりにとってとても楽しい最高の思い出になりました。そしてこの宿泊体験学習を通して私たちの学年目標「66人66色」～一人ひとりが主人公だ～の達成に向けて一歩近づくことができたと思います。5Mを意識してたくさんの力を身に付け、成長することができました。 5年2組 阿部 花音